

第 3 章

みんなで目指す 2030 年のまちの姿

3-1 みんなで目指す 2030 年のまちの姿

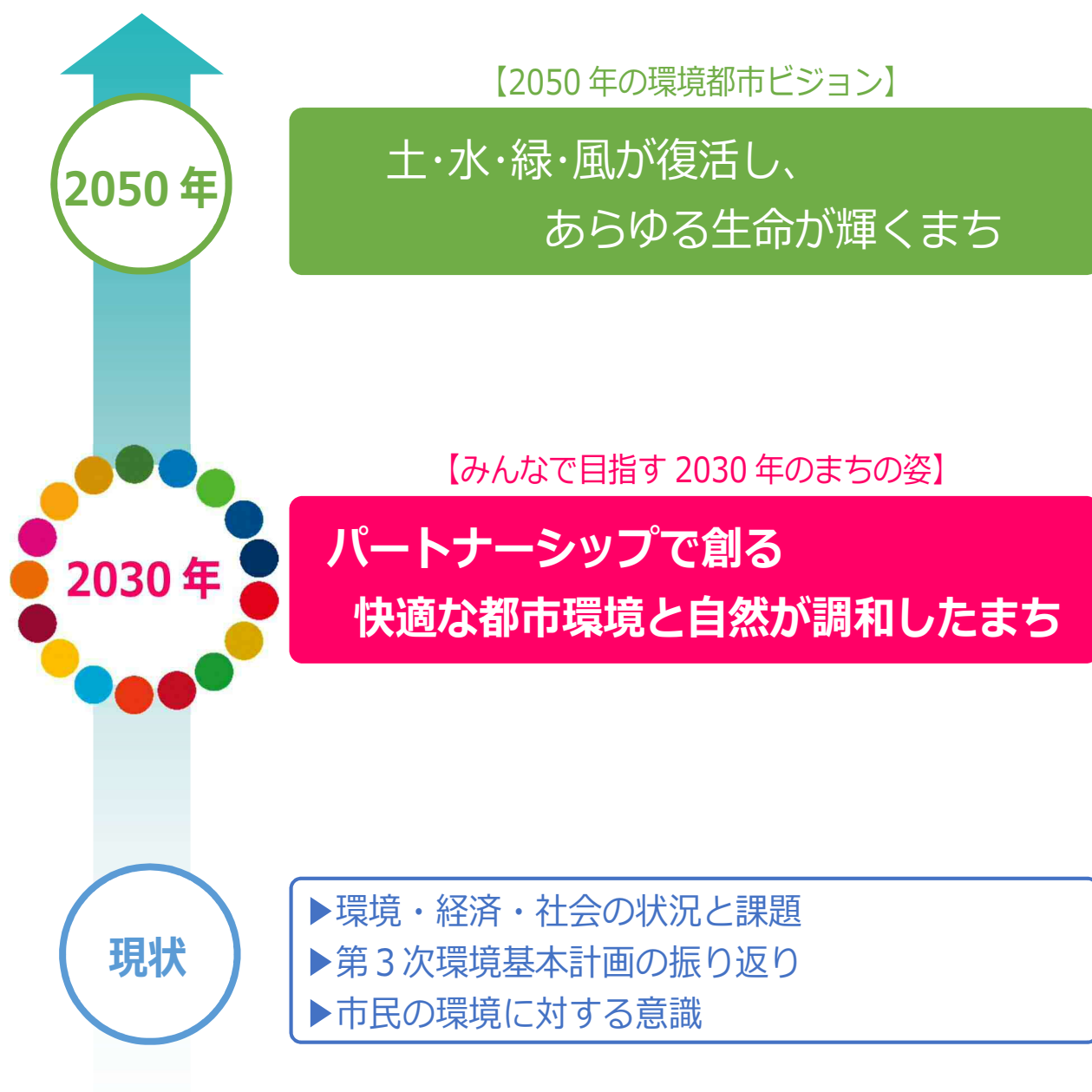
3-2 みんなで目指すまちの姿の実現に向けた行動

3-1 みんなで目指す 2030 年のまちの姿

第2章で整理した本市の環境を取り巻く状況と課題を踏まえ、「パートナーシップで創る 快適な都市環境と自然が調和したまち」をみんなで目指すまちの姿として掲げます。この目指すまちの姿には、SDGs の理念である「包摂性」「参画型」「統合性」（P4 参照）を反映しています。

「包摂性」「参画型」という理念を踏まえると、誰もがそれぞれの持つ力を発揮できる社会において、私たち一人ひとり、各主体が、環境に配慮した行動をとり、その行動がつながるとともに、それぞれの役割を担いながら連携して取り組む、パートナーシップによりまちを支えていくことが必要です。

また、「統合性」という理念を踏まえると、環境・経済・社会を調和させながら、分野横断的に取り組みをすすめることが重要であることから、まちを織りなす分野横断的な側面（ライフスタイル・まちづくり・経済）からの総合的な視点でまちの姿を示します。



【みんなで目指す 2030 年のまちの姿】

パートナーシップで創る 快適な都市環境と自然が調和したまち



パートナーシップがまちを支えている

様々な環境に関する情報が発信され、誰もが簡単に情報を入手できるとともに、気軽に参加できる学びの場が創出され、すべての主体が環境のことを自分ごととして捉え、行動しています。また、様々な主体が立場や分野を超え、多様な資源を持ち寄りながら環境の課題に協力、連携して取り組んでいます。こうしたパートナーシップが、新たな環境価値や社会の変革をもたらしています。

<まちの姿のイメージ>

- ▶環境の取り組みが積極的に発信されています。
- ▶様々な情報媒体や講座、イベントなど、多様な手段により情報が発信され、誰もが簡単に情報を入手できています。
- ▶様々な主体が環境に関する学びの場を提供し、誰でも気軽に学びの場に参加できています。
- ▶誰もが環境のことを自分ごととして捉え、行動しています。
- ▶様々な主体が連携して、多様化・複雑化する環境課題に取り組んでいます。

環境にやさしく豊かなライフスタイルが定着している

省エネ・省資源化をはかる技術などを活用し、快適、便利で安心な暮らしを営んでいます。また、省エネ・省資源で、自然と共生したライフスタイルにより、健康的で、心豊かな暮らしを営んでいます。

<まちの姿のイメージ>

- ▶IoT など先進技術を活用した家電や建築設備などにより、省エネかつ便利に暮らしています。
- ▶テレワークやウェブ会議などの導入により、移動に伴うエネルギー使用量の削減がすすむとともに、ワーク・ライフ・バランスが向上し、生活にゆとりをもたらしています。
- ▶再生可能エネルギーや蓄電システムなどの導入により、温室効果ガスの排出を削減しながら、災害時の電源も確保しています。
- ▶徒歩や自転車といった手段で通勤や通学などをするにより、省エネかつ健康的に暮らしています。
- ▶エシカル消費や 3R の取り組みなど、地球環境や地域社会などに配慮した生活を心がけることで、心豊かに暮らしています。
- ▶自宅や職場といった身近な空間に緑を取り入れることにより、暑さを和らげるとともに、生活に潤いや安らぎをもたらしています。

人にも生きものにも住み心地のよいまちが形成されている

自然環境が持つ多面的な機能を活用し、暑熱が緩和され、災害に強く、自然が身近にある魅力あふれる都市空間が形成されています。また、ごみや資源が適正に処理され、空気や水などが良好に保たれた衛生的で暮らしやすい生活環境が確保されるとともに、低炭素でエネルギー効率の高い建築物の立地や環境にやさしい交通体系の形成などにより、環境負荷の少ないまちが実現しています。

<まちの姿のイメージ>

- ▶グリーンインフラの導入がすすむことで、暑さが和らぎ、健全な水循環や生物多様性が回復するとともに、雨水の流出が抑制された災害に強いまちになっています。また、身近に自然が感じられるとともに、良好な景観が形成されることで、ゆとりと潤いのある魅力あふれるまちになっています。
- ▶水辺空間の利活用や水質改善がすすむことにより、水辺空間の魅力が向上し、快適でにぎわいのあるまちが形成されています。
- ▶ルールを守ったごみ・資源の排出や清掃活動などにより、衛生的なまちが保たれています。
- ▶工場などでの適切な環境対策の実施や次世代自動車の普及などにより、良好な空気や水環境などが保全され、暮らしやすい生活環境が確保されています。
- ▶再生可能エネルギーや自立・分散型エネルギーなどの導入がすすむことで、温室効果ガスの排出を削減しながら、災害時に電源が確保される災害にも強いまちになっています。
- ▶歩行者や自転車が安全・快適に移動できる歩行・走行空間の形成や公共交通機関を中心に移動できる交通体系の形成などにより、環境にやさしく、安全・快適に移動できるまちになっています。
- ▶燃料電池自動車の普及や水素ステーションの設置の広がりなどにより、水素エネルギーの利活用が拡大しています。

グリーンな経済が循環している

環境にやさしい製品やサービスが供給され、選択されています。また、環境配慮に取り組む事業者や環境保全のプロジェクトなどに投資や寄付といった資金が投入されています。資源が効率的・循環的に利用され、廃棄物の発生などの環境負荷が抑えられた、持続可能な経済・社会の仕組みになっています。

<まちの姿のイメージ>

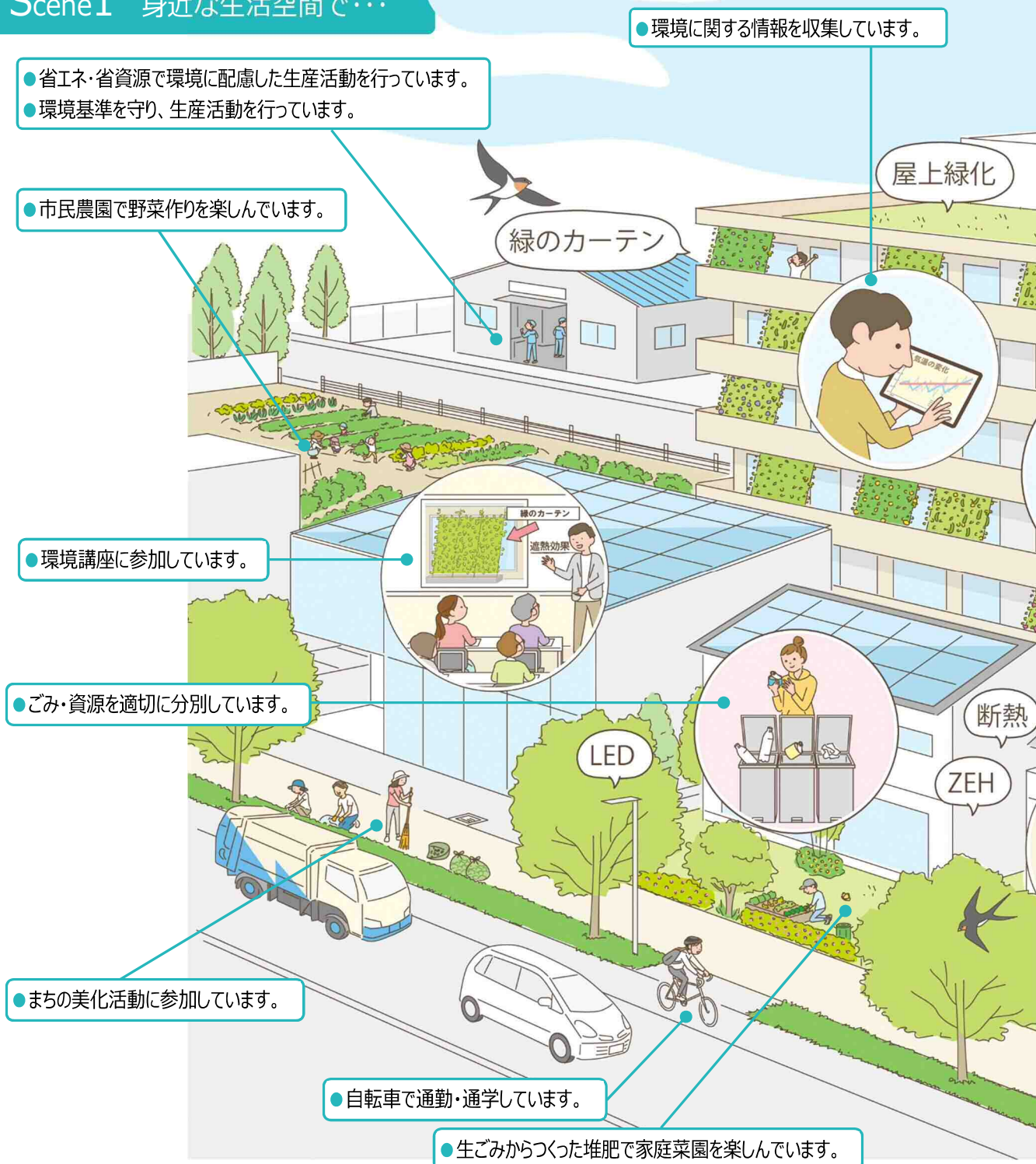
- ▶環境負荷の低い製品・サービスが多く供給され、消費者が選択しています。
- ▶環境にやさしい経済活動に投資などの資金投入がなされ、資源やエネルギーの利用を極力抑えた製品やサービスが生産、供給されています。
- ▶環境課題の解決に向けた取り組みや環境保全の活動に、寄付などの支援が広がっています。
- ▶資源の効率的・循環的な利用をはかった事業活動が広がっています。

3-2 みんなで目指すまちの姿の実現に向けた行動

3-1 で示した「みんなで目指すまちの姿」の実現に向けた私たちの行動や取り組みのイメージを、身近な生活空間、商業・業務地、郊外などの3つのシーン別にイラストなどで示します。

行動や取り組みには、今すぐできるものから段階的に取り組むものまであり、イラストに示したもの以外にも様々なものがあります。また、それぞれの主体の行動や取り組みは関連します。みんなで目指すまちの姿の実現に向け、日常生活や事業活動などにおいて、私たち一人ひとり、そして、パートナーシップで、何ができるのか一緒に考えていきましょう。

Scene1 身近な生活空間で…



みんなで目指すまちの姿の実現に向けた「わたしの行動」

あなたにできる行動を考え、実践してみましょう！

- 買い物に出かける前に冷蔵庫の在庫を確認しています。
- 手つかずの食品をフードドライブに寄付しています。
- 省エネ効果の高い製品を使用しています。

● テレワークをしています。

● 汚れをふき取ってから食器を洗っています。

太陽光発電

ZEH-M

透水性舗装
保水性舗装

雨水浸透ます

緑化駐車場

V2H 充放電設備

雨水貯留タンク

● カーシェアリングで ZEV を利用しています。

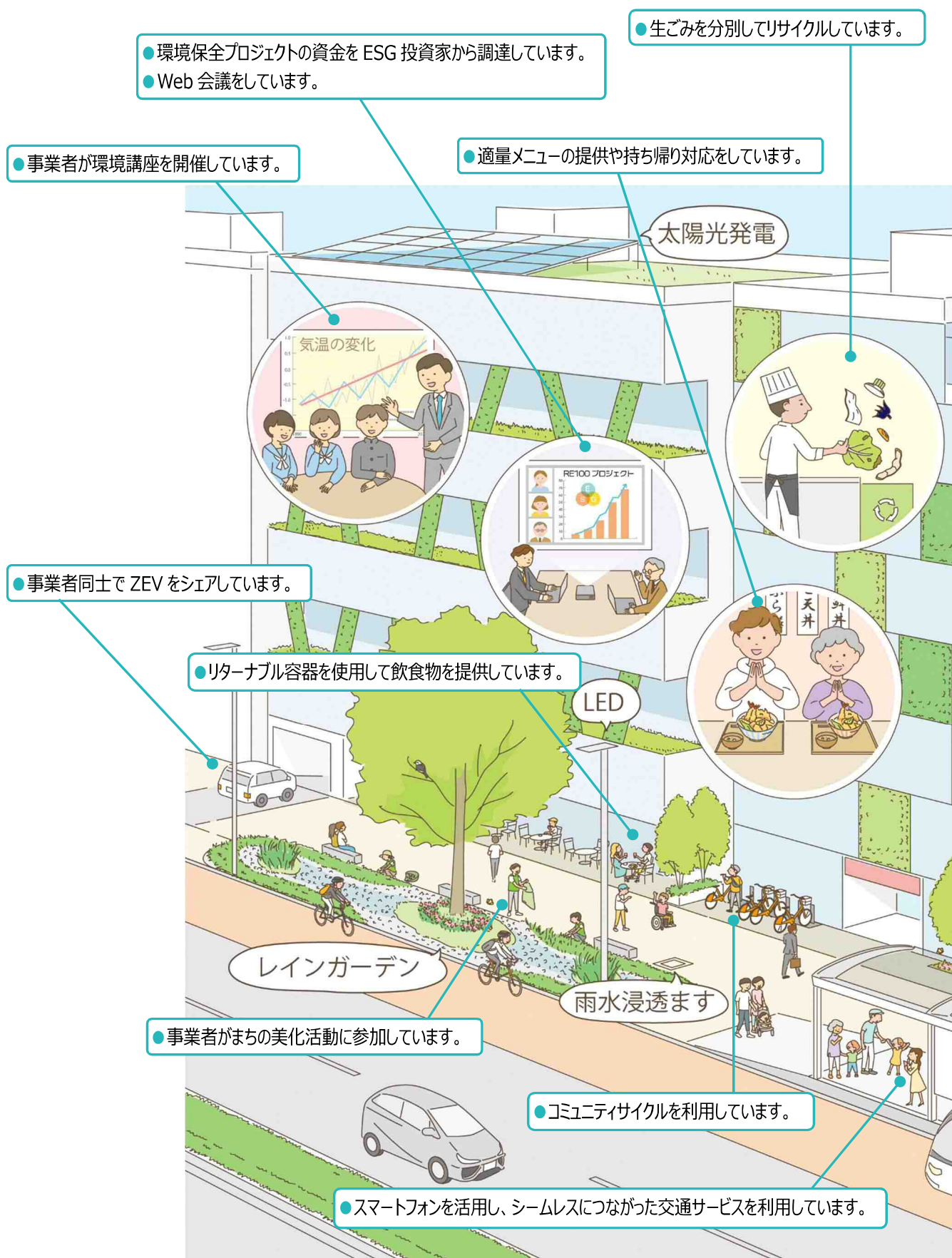
● 太陽光で発電した電気を EV に充電しています。

● 貯めた雨水を利用して水やりをしています。

● シェアリングサービスを利用して衣類をシェアしています。

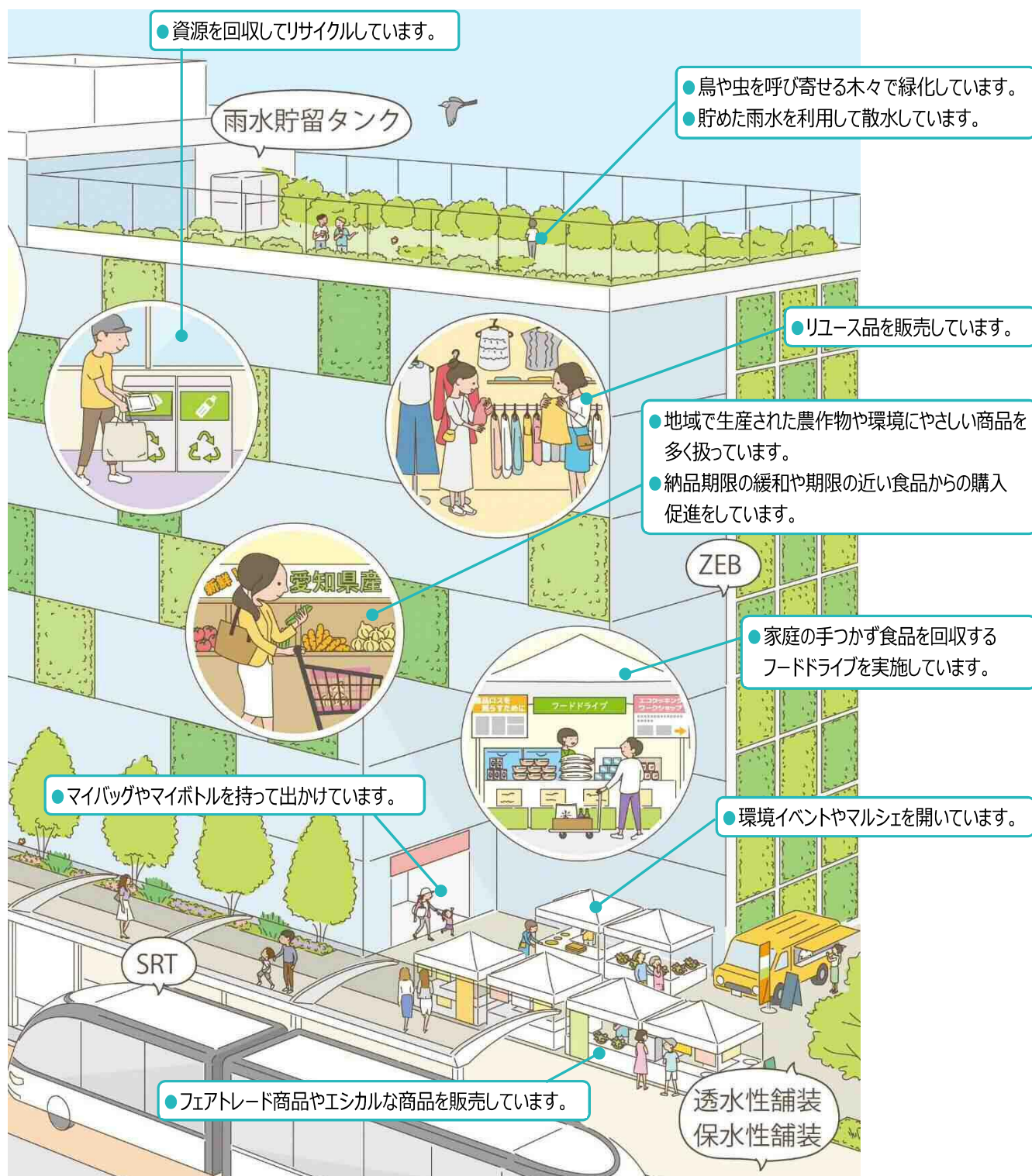
それぞれの行動や取り組みと第4章の施策との関係性は、参考資料「資-1」（P90）をご覧ください。

Scene2 商業・業務地で・・・



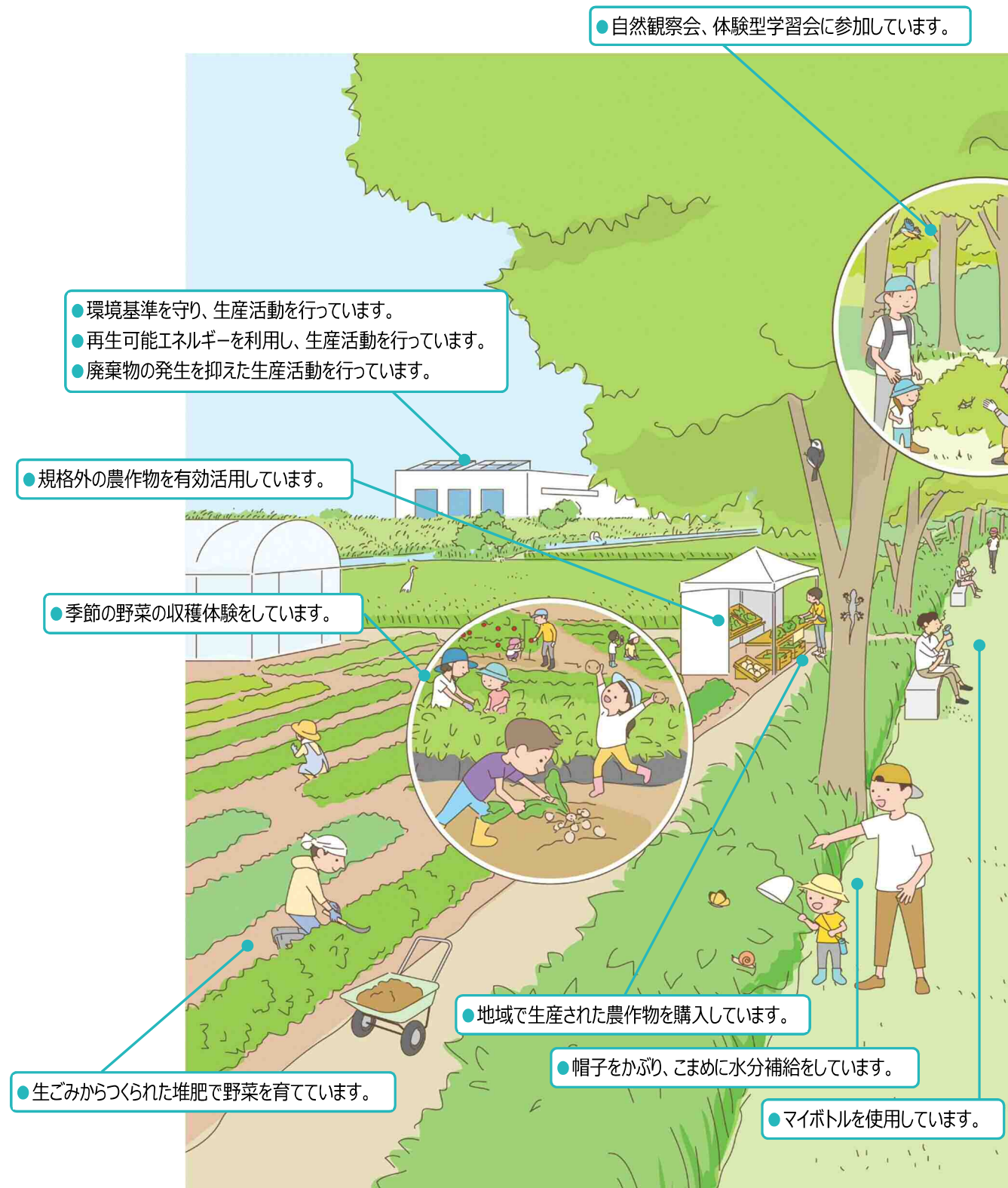
みんなで目指すまちの姿の実現に向けた「わたしの行動」

あなたにできる行動を考え、実践してみましょう！



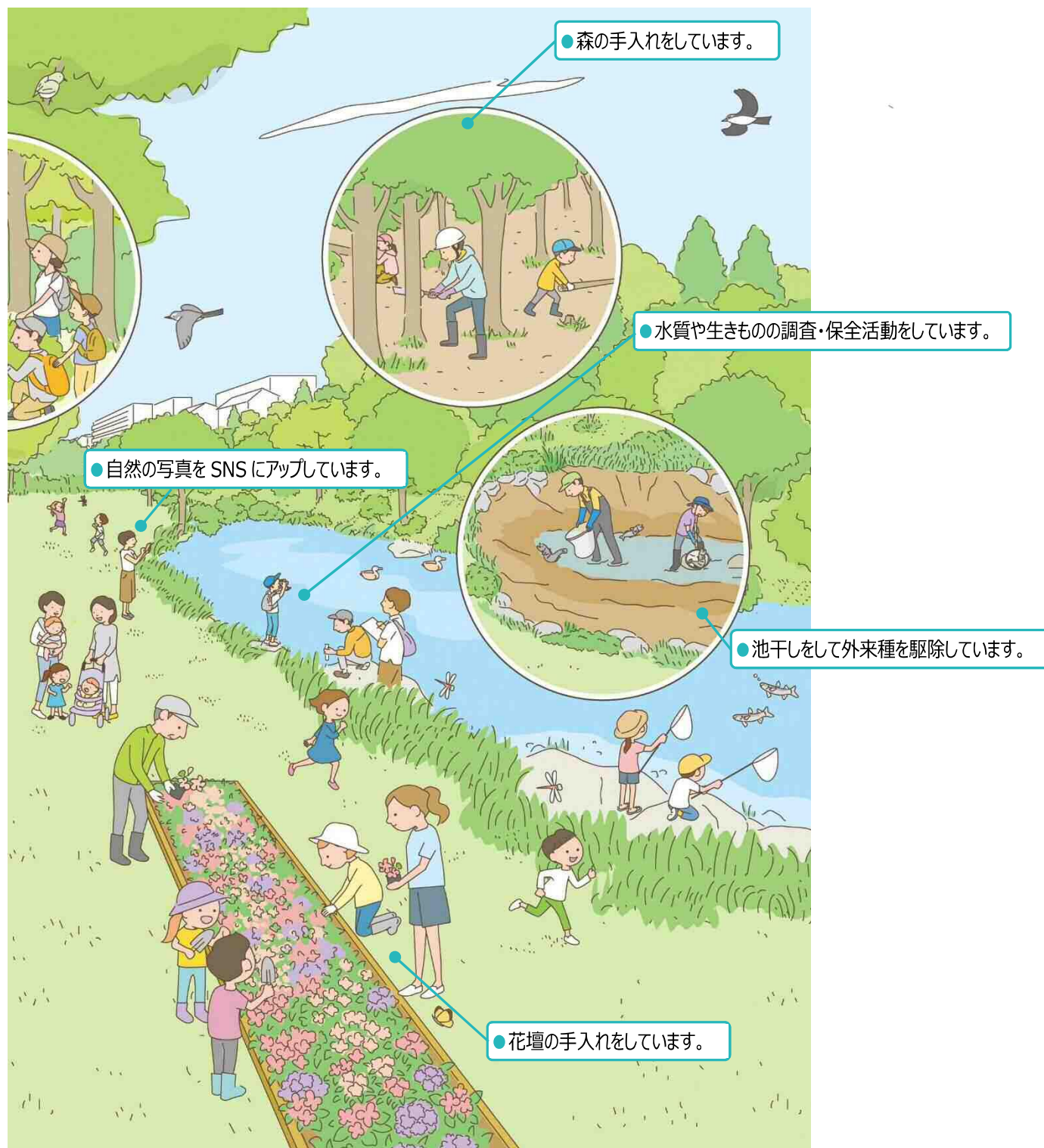
それぞれの行動や取り組みと第4章の施策との関係性は、参考資料「資-1」（P91）をご覧ください。

Scene3 郊外などで...



みんなで目指すまちの姿の実現に向けた「わたしの行動」

あなたにできる行動を考え、実践してみましょう！



それぞれの行動や取り組みと第4章の施策との関係性は、参考資料「資-1」（P92）をご覧ください。

行動や取り組みのつながり

42 ページから 47 ページでは、みんなで目指すまちの姿の実現に向けた行動や取り組みのイメージを、身近な生活空間などのシーン別に描いていますが、暮らしや事業活動における私たち一人ひとりの行動や各主体の行動は関連しあっています。また、暮らしや事業活動は、食べ物や水、木材、エネルギーなど、自然からの恵みによって支えられているとともに、自然に影響を与えています。

一人ひとり、各主体が、環境にやさしい行動をとるとともに、それぞれの役割を担いながら連携することで、みんなで目指すまちの姿の実現に向けて取り組んでいきましょう。

